

編輯室の内外

庭の枯草も緑を見せて編輯室の窓にも春が来た、編輯気分も自然潑刺ならざるを得ない、編輯資料も精選を加へて春の新味を表はすことに力めた、其の結果ではないが發行期日が遅れたことは残念である。

五十六議會も誤駄々々の裡に終了し吾々の期待した産業道路の豫算も漸く成立した譯だ、併し玆に漕ぎ附ける迄は随分迂餘曲折があつた、民政黨の連中が鐵道問題と産業道路問題とを混交せしめて豫算の成立にケチを附けむとする、面目などは一向構はない現政府でも之には少々尻古たれて政府委員は人知れず臍棄を絞つたものだ、しかし夫れが衆議院で行はれたのではなく國民に餘り縁のない貴族院で行はれたのだから驚き入る、貴族院の政黨化、貴族院廢止論の起る所以、モ一可い加減に廢止したいものだ。

此議會程道路問題が多く論議された議會はなかつた、道路が國民生活に密接することを物語るものだ、曰く道路法を改正して

編輯室の内外

府縣廳から町村役場に達する道路を府縣道にせよ、曰く鐵道網の決定には道路主管省に相談せよ、曰く道路を自動車道化せよ、次から次へと吾々の常に言つてゐることを議場に送つた、此次は政黨の政綱に道路政策を掲げる必定、さうして我が路政は進展して行く、併し先きの見えない貴族院一部の連中は鐵道々路會議を起せ、なぞと愚にもつかぬ意見を提出してゐる、まだ道路の特質が判らないのだらうか、之も貴族院廢止の理由。

議會が終了して一息ついた政府のお役人連、あの時の苦しい態度——答辯が出来なければ夫れでよろしい質問を打切ります、と言はれた其のことを忘れ、編輯室を訪れては法螺を吹く、ナニ田舎議員相手の議會なんか何でもない、俺が一寸辯明したら直ぐ賛成したよ、なぞと勝手な熱をあげてゐる、併し議會がなかつたら大臣と言ふものは面白い樂な商賣だと、言つた大臣もある筈、咽元通れば暑さを忘れるの徒、来るべき議會に其の言葉を忘れないやうに切に祈つておく。

本會の海外派遣員の一人兵庫の田邊君、

餞別に貰つた洋酒を船室に積みあげて禁酒國へ、東京から脱線しつゝ、米國へ、お土産の失敗談あるは必定、次號から本誌へ登載する(路政僧)

× × × × ×

本號定價 五十錢
一ヶ年分 金六圓

東京市麴町區大手町一丁目内務省内
發行所 社團 道路改良會
發行兼 編輯者 小島 效
印刷所 常磐印刷所
印刷者 堀江 關武